

令和7年度の取組結果一覧

山陰線WT

令和7年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施	竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	4,000千円	竹野地域公共交通利用促進委員会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～8月 【実施状況・課題】 8月末20,000枚配布完了し、19,088枚換金 換金率95.4% 【今後の展開】 来年度については市単独で継続実施予定			●		
トライやる・ウィーク交通費支援	トライやる・ウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際の公共交通機関を利用した際の費用を支援	340千円	豊岡市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 5月～6月 【実施状況・課題】 延べ101名の生徒が利用(JR22名、路線バス69名、市営バス10名) 【今後の展開】 来年度も継続して実施予定			●		
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務	2,280千円	豊岡市 (一社)だけの観光協会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月 【実施状況・課題】 2025年度の乗車券類実績は、2年連続コロナ禍前の2019年度実績を上回った。 【今後の展開】 今後も継続して実施予定			●		

令和7年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張に公共交通機関を利用	300千円	豊岡市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月 【実施状況・課題】 利用：36件延べ61名(2月末時点) 【今後の展開】 今後も継続して実施予定			●		
e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	—	豊岡市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月 【実施状況・課題】 81名 対象者の5.3%(2月末時点) 【今後の展開】 今後も継続して実施予定			●		
募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施	—	竹野駅を愛する会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月現在 【実施状況・課題】 参加者：237名(2月末時点) 【今後の展開】 今後も継続して実施予定				●	

令和7年度の取組結果（一覽）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
養父市関宮小さな拠点づくり 共創プラットフォーム事業	市が進める「関宮小さな拠点」を、地域の移動手段と路線バスとの結節点として運用することを想定し、旧関宮地域の交通体系を検討する中で、デマンド交通実証実験を実施	27,304千円 (予算総額) 4,722千円 (養父市負担分)	養父市 交通事業者等			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 利用人数：延べ66人</p> <p>【期間】 11月8日～1月18日</p> <p>【実施状況・課題】 今年度より予約配車アプリを導入し、有償にて実施 (1乗車 運賃400円～1,000円 高齢者等半額割引あり)</p> <p>【今後の展開】 令和8年度も引き続き実証実験を行い、令和9年4月からの本格実装を目指す</p>			●		
自動運転バス実証実験	自動運転バスの導入により新たな交通体系の在り方を検討	63,750千円	養父市 BOLDLY(株) 全但バス(株) やぶ市観光協会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 利用人数：延べ62人</p> <p>【期間】 12月19日～2月20日</p> <p>【実施状況・課題】 今年度は車両を1台増やし、運行ルートを道の駅ようか但馬蔵まで延長 運行ダイヤを昨年度の4往復6便から6往復12便に増便 画像認識機能の追加等の車両アップデートを実施</p> <p>【今後の展開】 自動運転の技術面、社会受容性、経営面を評価検証しながら、将来的なレベル4運行を見据えた地域交通の構築を目指す</p>			●		
鉄道利用促進助成事業	香住町在住者が町内5駅を発着として2名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 申請：223件、利用者：540名、助成金：約1,572千円(3月16日時点)</p> <p>【期間】 4月1日～3月31日</p> <p>【実施状況・課題】 昨年度同期に比較し申請件数は139.4%(R6-160件) 利用者数は150.4%(R6-359人)、助成金は144.8%(R6-1,086千円)と増加している。</p> <p>【今後の展開】 引き続き町民への周知を行い利用者の増加を図る。</p>			●		

令和7年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
職員公共交通利用出張事業	職員が出張を行う際に、公共交通を利用（鉄道、航空機、高速バス）することで公共交通の利用促進を図る。	876千円	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】利用者：延べ108名(令和6年度：202名)</p> <p>【期間】令和7年度</p> <p>【実施状況・課題】町職員の出張に伴う鉄道利用促進に寄与することができた。</p> <p>【今後の展開】引き続き事業継続するとともに、町職員に対し積極的な利用を呼びかける。</p>			●		
鉄道往復利用支援事業	浜坂駅を発着駅として豊岡(城崎温泉)駅又は鳥取駅を往復利用時の片道乗車券とハルヒ配布	130千円	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】利用者：延べ38名（うち子ども3名）</p> <p>【期間】3月18日、3月19日、3月28日、3月29日(計4日実施予定)</p> <p>【実施状況・課題】春休み期間（出かけやすい時期）に実施した。町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。</p>			●		
鉄道往復団体利用支援事業	10人以上20人以内で町民の方のみの団体が浜坂駅を発着駅として豊岡(城崎温泉)駅または鳥取駅までの間を往復利用した場合に片道分の乗車券を配布	130千円 ※鉄道往復利用支援事業と同予算	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】利用者：1団体</p> <p>【期間】3月1日～31日のうち利用希望日</p> <p>【実施状況・課題】春休み期間（出かけやすい時期）に実施した。町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。</p>			●		

令和7年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
特急はまかぜ利用助成金交付事業	町民が特急はまかぜを利用時の乗車券等の運賃を助成	1,050千円	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 利用者：延べ370名 (令和6年度時点利用者：延べ344名)</p> <p>【期間】 令和7年度</p> <p>【実施状況・課題】 町民が移動手段で鉄道(特急はまかぜ)を選択するきっかけとなった。</p> <p>【今後の展開】 新規利用者を確保できるよう、広報・周知に努める。</p>			●		
特急はまかぜ「ちょい乗り」事業	10人以内の町民が浜坂駅から鳥取駅まで特急はまかぜ号を利用する場合に片道分の乗車券を配布	129千円	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 利用者：延べ10名（うち子ども4名）</p> <p>【期間】 3月18日、3月19日、3月28日、3月29日(計4日実施)</p> <p>【実施状況・課題】 春休み期間（出かけやすい時期）に実施した。町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。</p>			●		
町民ふれあいの旅事業	特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅(美しい風景と歴史を巡る山代温泉2日間の旅)	430千円	マクトラベルサービス 新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 参加者：20名(令和6年度参加者：27名)</p> <p>【期間】 6月20日～21日</p> <p>【実施状況・課題】 石川県に行き、町民の親睦および鉄道の利用促進を図ることができた。</p>				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
デマンド型乗合交通の活用 （播但線再掲）	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	128,605千円	朝来市			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 令和7年4月1日からの和田山・山東エリアの試験運行開始により市内全域での運行完了。年間延べ40,000人超の利用を見込む。 【今後の展開】 鉄道・バスへの乗り継ぎ利用の周知等、より効果的な運行を目指す。			●	●	●
情報発信 （播但線再掲）	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信	—	朝来市			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 市公共交通情報誌「あさごナビ」の発行や、市HPを活用し、各種公共交通施策に関する情報発信を実施した。 【今後の展開】 引き続き情報発信を継続する。			●		●
利用促進 （播但線再掲）	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進（市職員による利用促進の取組など）	—	朝来市			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 通年での公共交通通勤や、出張での公共交通利用の奨励等、利用促進の取組を実施した。 【今後の展開】 市民全体の活動となるように引き続き実施する。			●	●	●
【拡】 駅周辺整備事業 （播但線再掲）	駅利用者の利便性向上のため、和田山駅南ロータリーを整備。	13,000千円	朝来市			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 駅南ロータリー（R7.11）を整備完了・供用開始。 【今後の展開】 引き続き駅周辺の環境整備を図る。			●		●

令和7年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
豊岡車両基地見学会の実施	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施	150千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 11月1日 【実施状況・課題】 但馬地域内各小学校にチラシを配布し、213名(うち子ども97名)の参加があった。 【今後の展開】 令和8年度も引き続き実施予定					
【新】「乗って守ろう！山陰本線『浜坂・香住・竹野駅ペイ』」の実施	新温泉町浜坂地域、香美町香住地域及び豊岡市竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	1,767千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●	●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 9月1日～2月28日 【実施状況・課題】 配布実績：10,428枚配布 換金実績：9,462枚 換金率約90.7% 【今後の展開】 市町単独事業として実施を検討中。					
【新】兵庫県・鳥取県の鉄道利用促進連携事業	鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会と連携して、JR山陰本線・特急はまかぜの利用を促進するキャンペーンを実施	200千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 「山陰本線で行く！ごほうび鉄道旅！」 【期間】 12月13日～2月23日 【実施状況・課題】 応募件数：189件 (普通列車利用 104件、特急はまかぜ利用 85件) 【今後の展開】 引き続き鳥取県との連携を図る。			●	●	

令和7年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】但馬地域における公共交通の 利便増進に向けた人材育成事業	各ステークホルダーや既存ネットワークで顕在化している課題の共有と解決に向けた方策、「持続可能な公共交通体系」の方向性を整理し、広域連携を主導できる人財を育成する。 また、乗継の利便性向上、運賃収受方法の統一化、共通運賃制度等を念頭に置いた連携の可能性を検討する。 （「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「モビリティ人材育成事業」（国庫10/10）を活用）	14,769千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 国交省より交付決定を受け、全4回にわたる但馬地域公共交通勉強会を実施した（10月24日、11月19日、12月11日、1月28日）。 【今後の展開】 勉強会の成果を報告書としてとりまとめ、今後の地域公共交通のあり方を検討する際にマニュアルとしても活用できるようにする。 また、公共交通フォーラムを開催し、地域へもその内容を広める。</p>					
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次交通を充実	450千円	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会 等			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 4月13日～11月30日 【実施状況・課題】 全体で1,092名の利用があり、多数の鉄道利用に繋がった。 【今後の展開】 令和7年度は但馬・鳥取空港と連携することで、大阪・関西万博来訪者や首都圏からの観光客等を地域に呼び込んだ。今後も、鉄道利用促進に繋がるよう、空港との連携を進める。</p>				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
1 日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の継続運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保。ガイド無料や観光施設入館無料等、立ち寄り先での特別体験を企画	15,180千円	但馬観光協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日 【実施状況・課題】 2月末時点で1,815名利用。（昨年度2月末時点より384名減少）但馬外での周知が不足していると思われるため、SNS等を活用したPRが課題。 【今後の展開】 4月以降、「たじまわる」の乗車料金改定および運行ルートの見直しを行ったことから、内容の周知を徹底するとともに、観光客への情報発信を強化し、1便当たりの利用者増加を図る。また、9年度の運行に向け、ルート内容等は引き続き検討を行う予定であり、乗車料金改定後も「たじまわる」の利用者満足度を維持できるよう努める。</p>				●	
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。	200千円×2	兵庫県 (市町協調)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 浜坂高等学校「浜坂高校生がつくる『食べ歩きMAP』プロジェクト」を採択 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 浜坂駅・湯村温泉エリアを対象に、自動車やバスの待ち時間を活用した“食べ歩き”や“立ち寄り”を促進する食べ歩きMAP（英語版）を作成。 【今後の展開】 モデル事業開始より3年が経過し、活動団体が一定、地域に根差したと考えられる。次年度は実施せず、全県的なPR活動に努める。</p>			●	●	●
【新】FPデジタルスタンプラリー	但馬のFP等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各FPの魅力を体感してもらう。	1,163千円	兵庫県 (但馬県民局)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 11月1日～1月31日 【実施状況・課題】 駅から離れているチェックポイントもあり、どう鉄道利用に結び付けるかが課題</p>				●	

令和7年度の取組結果（一覽）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
但馬観光の将来を見据えた地域内周遊の促進	大阪・関西万博やワールドマスターズゲームズ関西を契機に発展を目指す地域コンテンツへ観光客を送客する2次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2次交通の充実を推進	1,000千円	兵庫県 (但馬県民局)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 令和8年2月21日～3月22日 【実施状況・課題】 鉄道駅から観光地を繋ぐデマンドバスの実証運行を実施。城崎温泉・但馬空港から出石へ移動でき、完全貸切予約制で最大6名まで乗車可能。上記期間中の乗車実績は合計5名。課題としては、このようなデマンドバスが運行していることをもっと広く周知することだと考えられる。 【今後の展開】 実証運行の結果を基に、内容の磨きあげに向けた検討を行う。</p>				●	
WESTERへの情報集約	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 登録スポット数 91件、登録イベント数 78件（5月時点：83件） 【期間】 通年 【実施状況・課題】 イベント情報を継続して、ご提供いただいている。</p>				●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 通年</p>				●	

令和7年度の取組結果（一覽）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】 はなあかりの運行 (かにカニはまかぜ増結)	臨時特急「かにカニはまかぜ」に沿線地域の工芸品・アート作品を展示した観光列車「はなあかり」を増結	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 1月5日～3月8日の月・金・土・日曜日 【実施状況・課題】 新聞やテレビに取り上げられ話題作りができています。 【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信していく。				●	
【新】 利用促進リーフレットの作成	普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に山陰線(城崎温泉～浜坂)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 年度末に配架予定 【期間】 6月～3月 【今後の展開】 今年度末を目途に公共施設等に配架する。				●	
【新】 ご利用実態調査	乗車駅・降車駅、目的、利用頻度、二次交通等についてのアンケート調査を実施。併せて、山陰線ノベルティを配布し、鉄道利用の呼びかけを実施	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 9月18日(木)、19日(金)、20日(土)、21日(日) 【実施状況・課題】 鉄道をご利用されていない地域の方々への利用促進の呼びかけが必要 【今後の展開】 昨年度、今年度のご利用実態調査の結果をまとめ、播但線(寺前～和田山)の現状分析に活かす				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 駅等で掲出することにより、多くのお客様の目に留まる。 【今後の展開】 今後も可能な範囲で協力。					
【新】週末開催！西日本じまん市	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信	—	JR西日本 各自治体		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 5月18日、9月7日 【実施状況・課題】 大阪駅「暁の広場」にて、豊岡市のご当地キャラクター「玄武洞の玄さん」を招き、玄武洞のVR体験や、但馬・播磨の魅力を伝えるフォトスポット設置やクイズを実施した。					

令和7年度の取組結果一覧

加古川線WT

令和7年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】フィールドパビリオンを巡る貸切列車の運行 (実施結果・今後の展開等)	フィールドパビリオン等を巡る貸切列車を運行し、北播磨地域と丹波地域への誘客を促進した。 【実施結果】 ① 8月2日（土）（丹波地域）、② 9月13日（土）（北播磨地域） ①28名②27名（定員30名） 【成果】 ・募集開始後、即完売となり、沿線の地域資源のポテンシャルの高さを感じることができた。 ・参加者がリピーターとなって家族や友人と来てもらえるよう、当日は加古川線車内でのトークイベント、化石発掘体験、日本酒の試飲などを行い、加古川線と沿線地域をPRした結果、「新しい発見があり、もう一度来たい」等の声が聞かれた。 【今後の展開】 引き続き、沿線地域資源の魅力を発信し、加古川線の利用促進につなげていく。	2,700千円	JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間)利用促進協議会			
地元高校生デザインの播州織中づくり広告による鉄道利用促進 (実施結果・今後の展開等)	県立西脇高校の生徒がデザインした「播州織中づくり広告」の車内掲示による鉄道利用の呼びかけ。 【実施結果】 沿線の県立西脇高校生、県立繊維工業技術支援センターの協力により、「駅名」や沿線市の「市花」、市のマスコットキャラクター「にっしー」(西脇市)、「ちーたん」(丹波市)をデザインした播州織中づくり広告を作成し、JR加古川線全車両内に掲示した。 【期間】 R7.10.9～10.29 【成果】 地元高校生が「さあ、加古川線を愛そう」をテーマに思いを込めてデザインしたという話題性が、功を奏し新聞でも紹介され、加古川線の現状を広く知ってもらうことができた。 【今後の展開】 地元高校生など地域と連携を図りながら、地元気運醸成に取り組んでいく。	300千円	JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間)利用促進協議会			

令和7年度の取組結果（一覽）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】啓発資材の作成	加古川線に関連したポスターやグッズなどを作成し、利用促進の啓発、PR資材として活用した。	900千円	JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間) 利用促進協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>市のマスコットキャラクター「にっしー」(西脇市)、「ちーたん」(丹波市)や西脇チェックを使用したロゴマークを作成し、それをデザインに使用した汗拭きシート(2,000個)とトートバック(2,000枚)をイベント等で配布した。</p> <p>【成果】</p> <p>イベント等での配布により、加古川線の認知度向上や地元意識の醸成に貢献した。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>今後も加古川線の認知度向上や地元意識の醸成に取り組んでいく。</p>			●	●	
【新】JR加古川線利用促進PR	<p>①イベント来場者等への啓発</p> <p>イベント来場者(約200名)にチラシを配布し、JR加古川線の利用を呼びかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント名 「あそびマルシェ」 ・実施時期 5月3日(土・祝) ・場 所 西脇市茜が丘複合施設Miraie 	-	JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間) 利用促進協議会			
	<p>②新聞折込での啓発</p> <p>PRチラシ(市民向け利用補助案内等)を、新聞折り込みし、利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 ①5/31(土)朝刊(3社) ②2/6(金)朝刊(6社) ・実施世帯数①1.8万世帯②2.2万世帯 ・対象地域 西脇市、丹波市 	253千円		●	●	
(実施結果・今後の展開等)	<p>【成果】</p> <p>①イベントでの啓発により、幅広い年代層に利用を呼びかけることができた。</p> <p>②沿線市全世帯の新聞折込により、利用補助制度を広く周知することができた。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>今後も加古川線の認知度向上や地元意識の醸成に取り組んでいく。</p>					

令和7年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】路線を丸ごとテーマパーク化！ 新たな観光需要の創造による 加古川線利用促進事業	①「加古川線ラッピング列車」(丹波竜・西脇チェック)の運行 ②沿線施設の「恐竜AR」との写真投稿(地元特産品等プレゼント) ③「恐竜&加古川線検定」の実施	6,600千円	JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間)利用促進協議会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施期間】 ①R7.11.23～R8.9月末 ②③ R7.12.21～R8.3月末 【成果】 ・「ラッピング列車」はデザインが好評で、新聞やSNSで複数発信されるなど話題となり、加古川線の現状について広く発信することができた。 ・「恐竜AR」では、沿線施設訪問により周遊を促進し、「恐竜&加古川線検定」は加古川線の理解を深める機会となった。(恐竜AR二次元コード読み取り回数3,858回)、(恐竜&加古川線検定回答数 405件) 【今後の展開】 事業により、加古川線の利用促進や認知度向上につなげていく。				●	
わが町考え隊事業の推進	hesocityclub代表 堀井氏を中心に、地域活性化策を展開。SNSによる情報発信、各種イベントへの参画やマルシェなどを開催した。	700千円	北播磨県民局 hesocityclub(hcc)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 ・加古川線リレーマルシェへの出店(7/26) ・マルトリエの開催(10/5、参加者約100名) ・SNSによる情報発信等 【期間】 4月1日～3月31日 【成果】 マルトリエの実施やSNSによる情報発信により、地域外の高校生や大学生が参画するなど活動の輪が広がっている。			●	●	

令和7年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR加古川線維持・利用促進地域協議会等と連携したリレーマルシェ等駅周辺イベントの開催	①北播磨かんきょうフェスタ ・実施時期 8月9日（土）16時30分～20時 ・場 所 日本へそ公園駅前	1,000千円	北播磨県民局、西脇市（協力：西脇北高校）			
	②リレーマルシェ×山田錦日和 ・実施時期 7月26日（土）16時30分～20時 ・場 所 日本へそ公園駅前	1,200千円	JR加古川線維持・利用促進地域協議会、山田錦日和実行委員会、北播磨県民局			
	③リレーマルシェ「へそマルシェ」 ・実施時期 8月9日（土）16時30分～20時 ・場 所 日本へそ公園駅前	2,000千円	JR加古川線維持・利用促進地域協議会、JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会			
	④リレーマルシェ「久下村夜市」 ・実施時期 8月22日（金）16時30分～20時 ・場 所 久下村駅周辺	861千円	久下自治振興会 丹波県民局			
	⑤リレーマルシェ×空飛ぶランタン ・実施時期 8月9日（土）16時30分～20時 ・場 所 日本へそ公園駅前	1,815千円	JR加古川線維持・利用促進地域協議会、JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会、JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間)利用促進協議会	●		●
	⑥リレーマルシェ「谷川昼市」・久下村ランタン祭り ・実施時期 12月6日（土） (谷川昼市・谷川駅周辺) 10時30分～15時30分 (ランタン祭・久下村駅周辺) 17時00分～20時00分	2,754千円	久下自治振興会、丹波県民局、JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間)利用促進協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>① 参加者 約 900名、うち加古川線利用者 約 180名 ② 参加者 約 500名、うち加古川線利用者 約 90名 ③ 参加者 約 800名、うち加古川線利用者 約 140名 ④ 参加者 約 1,100名、うち加古川線利用者 約 270名 ⑤ 参加者 約 900名、うち加古川線利用者 約 170名 ⑥ 参加者 約 900名、うち加古川線利用者 約 230名</p> <p>【成果】 ・万博期間中、地元地域と連携したリレーマルシェの連続開催（7/26、8/9、8/22）など集中的に利用促進に取り組んだ。 ・また、万博終了後も引き続き継続してリレーマルシェ（11/22、12/26）を開催するなど、地元住民の気運醸成と鉄道利用者増加につなげることができた。</p> <p>【今後の展開】 引き続き実施することで、地元住民の更なる気運醸成につなげていく。</p>					

令和7年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】環境学習ツアーの実施	<p>加古川線の久下村駅等を発着とし、丹波地域を周遊し、生物多様性や森林環境を学ぶツアーを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時 令和7年8月9日（土） ・実施場所 丹波の森公苑 	1,504千円	丹波県民局			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】参加者27名（JR加古川線利用者19名）、募集人数40名</p> <p>【成果・課題】応募人数は40名に達していることから、丹波地域での環境学習の魅力は高く、JR加古川線を利用しやすいコースを造成し、利用促進に繋げることが必要である。</p> <p>【今後の展開】JR加古川線を乗車する周遊プランを造成するなど、引き続き、地域資源の魅力発信に努め、加古川線の利用促進につなげていく。</p>			●	●	
【新】加古川線フォトコンテストの実施	<p>12/6のリレーマルシェ「谷川昼市」に合わせ、イベント前から、加古川線に親しんでもらおうと若手職員らによる「ユースチーム」で企画。車両、駅舎、沿線風景の3部門の写真を募集した。</p>	谷川昼市 予算内	丹波県民局			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】応募数59点、大賞兼部門賞（車両） 1点 部門賞（駅舎、沿線風景） 各1点</p> <p>【成果】加古川線沿線地域を中心に、県内各地域や大阪在住者からも応募があり、加古川線の魅力が伝わる作品が集まった。</p> <p>【今後の展開】加古川線の魅力の発信を継続していく。</p>				●	
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	<p>駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組を行う事業者等に対する補助 （補助率1/2、上限200千円）</p>	200千円	兵庫県、西脇市、 ×3件丹波市			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①久下村駅前に観光案内版等設置 ②西脇市駅前にイルミネーション設置 ③谷川駅前のシェアキッチン（サンキッチン）PR 				●	●

令和7年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【拡】定期券購入・駐車場利用料金の支援と定期券購入者自転車貸出事業	①通学定期券購入補助 ②（新）通勤定期券購入補助 ③自転車貸出事業 ④（新）駅等周辺駐車場利用料金助成	①2,982千円 ②1,425千円 ③ 296千円 ④1,200千円	①西脇市、丹波市 ②西脇市、丹波市 ③西脇市 ④西脇市			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 利用者①86名②20名③15名④9名 【期間】 4月～</p> <p>【成果・課題】</p> <p>①昨年度に比べ利用者がに増加した。自転車通学から電車通学へ変更した利用者もあり、好評を得ている。</p> <p>②自動車通勤から電車通勤に変更した利用者が多く、鉄道利用への転換に有効な取組となった。</p> <p>③利用者からは非常に助かると好評を得ている。より多くの方に有効に利用いただけるよう更なる周知が必要</p> <p>④駐車料金の補助をすることにより自動車利用から公共交通利用へと交通手段の転換を進めることができた。</p> <p>【今後の展開】 制度を継続し、さらに周知を図ることにより、鉄道利用者の増加を図る。</p>			●		
加古川線団体利用助成事業	①社会学習利用助成 ②団体利用助成	①550千円 ②800千円	西脇市・丹波市			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 利用者 ①173名 ②1115名</p> <p>【期間】 4月～</p> <p>【成果・課題】 沿線の学校園や一般の団体で補助制度を利用した鉄道利用を進めることができた。今後、この地域で活動の幅を広げていく若い世代や一般の方のJR加古川線への愛着を育むため、より多くの方に制度を利用してもらうことが必要。</p> <p>【今後の展開】 引き続き、多くの方に鉄道を利用してもらうため周知を進める。</p>			●	●	

令和7年度の取組結果（一覽）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】西脇市制20周年記念事業 JR加古川線イベント列車の運行	市制20周年を契機に、地域の公共交通の重要性とJR加古川線沿線地域の魅力を再認識することを目的に、貸切イベント列車を運行した。 ・実施日時 令和7年12月20日（土） ・実施区間 加古川線 加古川駅～谷川駅	500千円	西脇市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 参加者 61人 【成果】 西脇市制20周年を記念し「日本のへそ・西脇おもてなしトレイン」を運行、市制20周年記念酒の試飲や特製弁当のふるまい、西脇高校生による電車内での播州織ファッションショーなどの催しにより参加者から喜びの声をいただいた。					●
【新】西脇市制20周年記念事業 グルメイベント「肉バルin日本へそ公園」の開催	西脇市制20周年記念事業として市の特産品を集めたグルメイベント「肉バルin日本へそ公園」を開催 ・開催日時 令和8年3月14日（土） ・開催場所 日本へそ公園	8,000千円	西脇市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 参加者6,000名(うち鉄道利用者477名) 【成果】 西脇市制20周年を記念し「肉バルin日本へそ公園」を開催。JR西日本と連携し、2往復増便や2両への増結を実施するとともに、鉄道利用者へは会場で利用できる500円分の金券を配布するなど、鉄道を利用しやすく、お得に利用できる工夫をした結果、多くの方に加古川線を利用してもらうことができた。					●

令和7年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」の提示で入館無料 JR加古川線の1日乗り放題切符「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」の購入者を対象	①日本へそ公園駅付近にある「岡之山美術館」と「にしわき緯度経度地球館」の入館料を無料にした。 ・実施期間：4月13日（日）～10月13日（月・祝）	-	西脇市			
	②リニューアルオープンした「たんば恐竜博物館」（ちーたんの館）の入館料の無料及びミュージアムショップでのノベルティ配布を実施した。 ・実施期間：7月12日（土）～10月13日（月・祝）	-	丹波市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 ①利用者154名(岡之山美術館73人、にしわき緯度経度地球館81人)②利用者168名 【成果】 ①1日乗り放題切符「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」(JR西日本主催)の掲示による沿線施設入館料無料キャンペーンにより、多くの方に加古川線と地域の観光をセットで楽しんでもらうことができた。 ②1 Dayパスは大人対象であるが、販売実績にカウントされない同行する子どもも含めると、販売実績以上の利用促進を図ることができたと考える。 特に8月は夏休み期間のため、多くの利用があり加古川線での来訪を促せた。					
	【今後の展開】 加古川線沿線施設は地域の魅力を伝える大きなポテンシャルを持っており、加古川線に乗り、沿線施設を楽しむコースは利用者増に向け有効である。引き続き各施設と連携の上、加古川線の観光利用の増加に向けた取組を進める。					

令和7年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ①緊急応援企画～ライド&ゲット！電車に乗って、プレゼントをもらおう～の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：10/1～10/13 ・利用者数63名 ②乗車を呼びかけるチラシの配布等啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：9月 ・実施場所 <ul style="list-style-type: none"> ○西脇市茜が丘複合施設Miraie(みらいえ) ○たんば恐竜博物館 ③リレーマルシェなど利用促進イベントへの参画（7/26、8/9、8/22、11/22、12/6） ④啓発資材の作成（懸垂幕・啓発チラシ・沿線サイクリングマップ）等 	1,000千円	JR加古川線(西脇市駅－谷川駅)維持・利用促進地域協議会	●	●	
(実施結果・今後の展開等)	<p>【成果】 設立から2年目をむかえ、地域協議会のメンバーが、啓発チラシを直接住民に渡して利用促進を呼びかけるなど、積極的な啓発活動が、地元住民の気運醸成につながっている。また、利用者に向けて市が行う「団体利用助成」でも住民に対して申請支援を行うなど、行政とも連携した取組は利用促進につながっている。</p> <p>【今後の展開】 引き続き、行政と連携しながら住民の鉄道利用の呼びかけ等の利用促進の取組を進めていく。</p>					
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	沿線自治体提供の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	－	JR西日本沿線自治体			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 通年</p> <p>【実施状況】 「第3回マルトリエ」等イベント情報を掲載（西脇市）スポット7件、イベント7件（丹波市）スポット7件、イベント5件を掲載</p>				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信した。	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】 通年</p> <p>【成果】 下記イベント内容、ご当地自慢を掲載</p> <p>5月「小枝繁昭-花のワンダーランド展」@西脇市岡之山美術館</p> <p>6月「播州織産地博覧会」@Orinas～旧来住家住宅</p> <p>7月「丹波市立たんば恐竜博物館リニューアルオープン」</p> <p>8月「日本のへそ西脇夏まつり」@日本へそ公園</p> <p>9月「播州織」@播州織工房館</p> <p>「にしわき横尾忠則コレクションV展」@西脇市岡之山美術館</p> <p>「西脇・多可オープンファクトリー『もっぺん2025』」</p> <p>@道の駅北はりまエコミュージアム</p> <p>11月「西脇市文化祭文芸まつり」@西脇市総合市民センター</p> <p>12月「アピカ・アンサンブルコンサート」@西脇市立音楽ホール</p> <p>1月「にしわき横尾忠則コレクションVI展」@西脇市岡之山美術館</p> <p>【今後の展開】 今後も地域から頂いたイベント情報を掲載する。</p>			●		
加古川線プロモーション動画放映、ポスター掲出	加古川線沿線のお出かけスポットを紹介する広告を近畿地方の駅や車内で実施した。	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】 4月～10月</p> <p>【成果】 下記取り組みにより、駅や車内で通行人に加古川線や沿線スポットについてPRできた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線の特産品やお出かけスポットを紹介するポスターを京阪神エリアの駅や車内に掲出 大阪駅や三ノ宮駅、関西空港駅のデジタルサイネージ放映 JR神戸線、JR京都線、JR宝塚線等でのWESTビジョン放映 大阪駅「暁の広場」のセントラルサウンドビジョン放映 			●		

令和7年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出した。	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【成果】 駅等で掲出することにより、多くのお客様の目に留まる 【今後の展開】 今後も可能な範囲で協力				●	
【新】「WESTER」デジタルスタンプラリーの実施	JR西日本アプリ「WESTER」を活用した、駅や対象スポットを巡るスタンプラリーを通じて誘客を促進した。	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月13日（日）～6月13日（金） 【成果】 スタンプラリー参加者数 395人					●
【新】利用実態調査	乗車・降車駅、利用者属性について乗り込み調査を実施した。	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 実施結果は「加古川線ご利用状況説明資料」にまとめた。 (https://web.pref.hyogo.lg.jp/nhk02/kakogawasen_wt/nananenndo.html) 【期間】 4月～10月、1月			●	●	

令和7年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】加古川線の増発及び特急列車を谷川駅に臨時停車する実証実験	昼間時間帯の列車を増発することで、加古川線（西脇市～谷川駅）の利用が増加するかどうか検証した。併せて、特急こうのとり谷川駅への臨時停車を実施した。	-	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月13日（日）～10月13日（月・祝） 【成果】 1日2往復4本 平均乗車人数 10.5 人/本（平均乗車率 6.3%） ※定員 125 系（1 両）： 114 人、103 系（2 両）： 278 人 こうのとり12号、14号、16号、17号の4本 平均乗換者数 0.6 人/本			●	●	
【新】おとな旅あるき旅放送	テレビ大阪の番組で、俳優の三田村邦彦さんがゲストを連れて、加古川線の「オススメぶらり旅」を紹介した。	-	JR西日本			●
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【成果】 4月26日（土）に放送。放送後、YouTubeで配信されている（3月時点6.5万回再生）					
【新】「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」の発売	加古川線を1日乗り放題できるデジタルパスを発売した。	-	JR西日本			●
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月13日（日）～10月13日（月・祝） 【成果】 発売実績 861枚					
【新】週末開催！西日本じまん市	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信	-	JR西日本 各自治体			●
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 8月23日（土）、24日（日） 【成果】 新大阪駅在来線コンコースにて、北播磨地域の観光・文化・特産品の魅力を幅広い層に伝え、加古川線クイズや多可町のお米の販売などを実施した。					

令和7年度の取組結果（一覧）

（参考）JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
列車内鉄道絵画展	県内の園児・児童を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催	－	交通事業者、商工会議所、市町、県			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 ・応募608点(うちJR325点)、入賞者14名 ・鉄道事業者の協力のもと、列車内に作品を展示し、本人、家族等の鉄道利用が図られた。 【今後の展開】 継続して実施予定				●	
鉄道沿線ガイドの発行	鉄道沿線で開催されるイベント情報を掲載したガイドを発行	－	交通事業者、商工会議所、市町、県			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 ・発行年4回（季刊）				●	
JR加古川線 厄神車両基地見学会	鉄道の良さや魅力を再発見してもらうことで、鉄道のファンを獲得し、利用促進につなげるための見学会を開催	－	交通事業者、商工会議所、市町、県			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 181名 参加 【期間】 10月11日 【実施内容】 車両洗淨見学、レールカート乗車、鉄道模型(Nゲージ)の操作、車内放送体験、踏切操作器取扱体験、缶キャッチャーで宝探し、マスコットキャラクターと記念写真 【今後の展開】 継続して実施予定				●	

（参考）丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会事業

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】二次交通の定期運行による恐竜スポット周遊促進事業	大阪・関西万博に合わせて、久下村駅と谷川駅からたんば恐竜博物館を結ぶ「グリーンスローモビリティ」（グリスロ）の定期運行とたんば恐竜博物館での電動自動車「トゥクトゥク」の貸出しにより、恐竜化石発見地等の恐竜スポットを周遊した。	-	自治体、商工会、観光協会、民間団体等			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 グリスロ：585名、トゥクトゥク：33名</p> <p>【期 間】 グリスロ：8月30日～10月13日の土日祝（17日間） トゥクトゥク：9月13日～10月13日の土日祝（13日間）</p> <p>【成果・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリスロ、トゥクトゥクは乗車定員が3～6名と少数であり、輸送手段としては活用しにくい面があるが、人目を惹く形状で乗りたいという声も多く、一定の利用があった。 ・また、鉄道駅と恐竜スポットを二次交通で移動することで、加古川線を利用し、徒歩でもアクセスできることを実感いただくことができた。 <p>【今後の展開】</p> <p>鉄道駅からのおすすめウォーキングコースをPRするなど、電車と徒歩で周遊可能なことを周知し、加古川線の利用促進につなげていく。</p>			●		

令和7年度の取組結果一覧

姫新線WT

令和7年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業	定期乗車券により姫新線を利用する方の駐車場、駐輪場の月極使用料の全部又は一部を助成し、姫新線利用者の増加及びマイレール意識の醸成を図った	3,056千円	たつの市	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 申請者：175名（R8.3月末） 【今後の展開】 引き続き事業を実施					
千本駅トイレ整備事業	千本駅のトイレ改修	20,000千円	たつの市			●
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 施工前 【今後の展開】 来年度へ繰越					
姫新線を利用した遠足等のお菓子助成事業	姫新線を利用して遠足等を実施する市内のこども園にお菓子購入代金（1人につき200円程度）を支給	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 申請状況：4園（R8.3月末） 【今後の展開】 継続して実施					

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
たつの市民まつりにおけるPRブースの出展	たつの市民まつりにおいて、姫新線クイズや、利用啓発パネルを掲示し、来場者に姫新線をPR	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 11月3日 【実施状況・課題】 姫新線クイズや姫新線ファンクラブの勧誘を実施 クイズ参加者：先着150名 ファンクラブ加入者：1名 【今後の展開】 モビリティ・マネジメントの一環として、より多くの方に姫新線を周知する			●		
屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング	JR姫新線東鶯崎駅を出発し、因幡街道の宿場町の歴史に触れながら、寝釈迦の渡し・磨崖仏等のスポットを巡る冬の里山ハイキングを実施	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 2月7日 【実施状況・課題】 参加者：121人 【今後の展開】 来年度も引き続き実施				●	
【新】龍野納涼花火大会メッセージ花火	龍野納涼花火大会にて、利用促進のメッセージを打ち上げとともに放送	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 8月2日 【実施状況・課題】 来場者に花火とともに姫新線のPRを実施 【今後の展開】 今後も様々な場面で姫新線をPRしていく			●		

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】 皮革まつり協賛イベント	姫新線で来場された方にノベルティを配布し姫新線利用促進と併せて、皮革まつりへの誘客を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 11月15日 【実施状況・課題】 配布数：37名 姫新線を利用して参加される方は少ない印象 【今後の展開】 姫新線を利用したイベント参加を促進する施策を検討					
オータムフェスティバル協賛事業	姫新線で来場された方に地元特産品と交換できる引換券を配布し、姫新線利用促進と併せて、オータムフェスティバルへの誘客を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 11月22日～11月23日 【実施状況・課題】 引換券配布数：200枚 交換実績：146枚（73%） 【今後の展開】 引き続き観光利用促進のため、事業を継続して実施					
【新】 ノベルティの作成	姫新線をモチーフにしたノベルティを作成し、市内のイベント等へ姫新線で来場された方に配布し、利用促進を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 アルコールウェットティッシュ 【今後の展開】 イベントで配布					

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
しんぐうふるさとフェスタ協賛イベント	姫新線を利用して来場された方に播磨新宮駅にてノベルティを配布し、利用促進と併せてしんぐうふるさとフェスタへの誘客を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 3月8日 【実施状況・課題】 配布人数：36人（目標30人） 【今後の展開】 姫新線を利用したイベント参加を促進する施策を検討					
佐用町大学生等通学定期券購入助成事業	佐用町内在住の大学生等の通学定期券購入費用を助成し、地域公共交通の利用促進と若者世代の本町への定住促進を図った	6,000千円	佐用町		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 利用者数68名（R8.3月末） 【今後の展開】 既利用者に対し後追い調査を実施					
鉄道利用促進のための乗車券支給事業	町内の駅から鉄道を利用する団体(2名以上)に、片道分の乗車券を支給	800千円	佐用町		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 申請件数202件、利用者数701名（R8.3月末） 【今後の展開】 年齢制限の緩和を検討（現在高校生不可）					

令和7年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】 駅周辺イルミネーション事業	佐用町合併20周年事業として実施 駅前にイルミネーションを設置する地域団体に対し装飾LED電球の購入補助	300千円	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会 (佐用町)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 クリスマスに合わせ実施</p> <p>【期間】 三日月 12/7~1/24、播磨徳久(新) 12/24~1/9、 佐用 12/19~12/25、上月(新) 12/20~1/17</p> <p>【実施状況・課題】 点灯式に合わせたイベントの実施や、各駅における独自性ある取組は、参加者から好評を博した。実施した地域団体においても達成感が得られたことから事業意義を確認できた</p> <p>【今後の展開】 来年度以降もそれぞれの地域がイルミネーションを継続する予定</p>				●	●
【新】 鉄道利用促進特典費用助成事業	佐用町合併20周年事業として実施 地域団体等が実施するイベントで姫新線利用促進のために利用者に特典を付与する際の経費補助	100千円	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 助成実績無し</p> <p>【実施状況・課題】 地域団体等が補助金に頼らず自発的に鉄道利用を促す取組を実施。イベントポスター等でのJR姫新線利用の呼びかけや来場者の意識改革、イベント出発地への移動手段としてJR姫新線を利用する仕組みを導入し、普段鉄道を利用しない層に対しても、実際の乗車体験を提供する機会を創出した</p>				●	●
栗ひろいと佐用町を巡るツアー	沿線の観光施設を巡るツアーとして、秋期に栗ひろいや周辺の観光施設など、秋を満喫するツアーを実施		佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会 (佐用町)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 10月4日</p> <p>【実施状況・課題】 71組 155名から応募があり好評であった 当日は雨だったため栗ひろい自体は中止であったが、同じ場所で開催されているイベントや平福散策は実施 参加者にお土産(栗)を準備していたので好評だった</p> <p>【今後の展開】 栗ひろいは好評のため続けていく 雨の場合の対応と、平福以外の散策場所を検討</p>				●	

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】啓発パネル作成と佐用高校生による利用促進活動への補助	姫新線利用促進イベント等で掲示する利用促進啓発パネルの作成と佐用高校生が取り組む利用促進活動への補助	同盟会予算	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 ①【期間】11月3日 【実施状況・課題】佐用町収穫祭にて会場の商店街でクイズラリーを実施 ②【期間】3月5日完成 【実施状況・課題】利用促進のポスター・パネルを高校生がデザインし作成 パネルの設置場所が課題			●	●	●
駅施設へのポスター掲出・チラシ配架	鉄道利用促進に繋がるイベント等、ポスター掲出やチラシ配架の依頼があれば可能な範囲で協力	—	JR西日本及び各自治体	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】通年 【実施状況・課題】駅等で掲出することにより、多くのお客様の目に留まる 【今後の展開】今後も可能な範囲で協力					
南光ひまわり祭りでのおもてなし	姫路駅で一日駅長によるお見送り 名誉駅長（播磨徳久駅）と佐用町商工会合同のお迎えや案内の実施	—	JR西日本及び各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】7月19日～8月3日の土日祝 【実施状況・課題】佐用町立南光小学校の児童2名による、姫路駅での一日駅長体験を実施 【今後の展開】本年度ご利用状況を精査の上、来年度実施について検討				●	

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信	—	JR西日本及び各自治体		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 登録スポット数 14件 登録イベント数 11件					
姫新線車内路線図	龍野北高校総合デザイン科生徒による沿線の特産品などをデザインした車内路線図の作成 (2025年度：17回目)	—	JR西日本及び兵庫県立龍野北高校		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 神戸新聞などのメディアに掲載され、情報発信できている 【今後の展開】 龍野北高校との連携を継続し、新たな取組を模索					
姫新線車両基地ファミリー見学会	姫新線のご利用機会をつくり、親しみを持っていただくために実施する余部車両基地内の見学及びお仕事体験イベント	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（姫路市） JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 11月22日 【実施状況・課題】 ・参加人数 33組 101名（応募420組1358名） ・運転シミュレーター体験など、車両基地ならではのJRのお仕事体験 ・地元太市の竹を使ったモノづくり体験 ・参加者には姫新線を利用することを条件として、会場と駅間で送迎バスを手配 【今後の展開】 来年度も実施予定			●		

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
会員事業所への利用依頼及びHPによる広報活動	会員事業所に鉄道利用を促すチラシを配布するとともに、HPに掲載することで事業所（通勤者）の鉄道利用を促進	商工会予算	たつの市商工会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 11月25日 【実施状況・課題】 HP掲載：11月25日・LINE公式アカウント掲載：11月25日 【今後の展開】 定期的にHP、SNSに掲載し、広報していく			●		
会員事業所への姫新線利用呼びかけ	商工会HP、Facebook等のSNS及び会員へのDM発送により姫新線利用の呼びかけを実施	—	佐用町商工会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 姫新線の現状等の説明と利用告知の統一チラシ等が必要 【今後の展開】 引き続き姫新線の利用について呼びかけを実施			●		
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺活性化の取組を行う事業者、地域団体等に対する事業費の補助（補助率1/2、上限200千円）	200千円 200千円	佐用町 西播磨県民局			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 コバコ株式会社 【期間】 10月6日、11月3日 【実施状況・課題】 佐用駅前商店街の古地図を作成、広報誌に折り込み全戸配布 新聞記事を見た人から、欲しいとの問い合わせも数件有 佐用高校生主体イベントにて配布 【今後の展開】 地域住民との交流の場の構築、駅周辺の賑わいの創出、姫新線維持に対する意識の向上につなげる			●	●	

令和7年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
西栗栖観光情報看板のお披露目 & 西栗栖えきまえ夜市	西栗栖駅前の観光看板をリニューアルし、そのお披露目を行った。屋台やキッチンカーを招き、駅前で夜市を実施	たつの市 補助金他	西栗栖連合自治会 しんぐうNext			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 10月18日 【実施状況・課題】 西栗栖連合自治会と協働で実施し、賑わい創出に繋がった 【今後の展開】 ローカル線利用促進事業を引き続き実施			●	●	●
【再掲】 謎解きイベント	『佐用町大収穫祭』佐用駅前で謎解きイベント開催	—	しんぐうNext (コバコ株式会社)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 11月3日 【実施状況・課題】 市町をまたいだ沿線地域の連携体制の整備に繋がった 【今後の展開】 ローカル線利用促進事業を引き続き実施			●	●	
【新】 沿線学生による「マイレール月間」の取組	主な利用者である学生自らが、利用促進や地域住民等への関心を高める取組などを集中的に実施し、「マイレール=自分たちの鉄道」意識の醸成を図った	385千円	西播磨県民局			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 3月 【実施状況・課題】 中づり広告掲出、利用啓発講演会、駅周辺の清掃活動、ノベルティの作成等 【今後の展開】 利用者のマイレール意識醸成を図れるよう引き続き任意の期間を設け、集中的に利用促進に向けた取組を実施していく			●		

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】岡山県との連携事業	JR姫新線は、兵庫・岡山両県を結ぶ広域的な鉄道ネットワークを形成する路線であるため、岡山県美作県民局と連携して、沿線市町のPRを実施	100千円	西播磨県民局			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 美作県民局と西播磨県民局が連携し、各駅舎等にチラシ配架スペースを設置するなど相互に沿線市町のPRを実施 【今後の展開】 沿線市町のPR等を互いの市町で行っていく			●	●	
県民局職員による「月イチ！姫新線乗車大作戦」の推進	県民局職員に対し、月1回以上の姫新線乗車を呼びかけ	—	西播磨県民局			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 県職員を対象に姫新線乗車の呼びかけを実施 【今後の展開】 職員への利用促進を継続			●		
姫新線グッズ作成	イベントで配布できるようなノベルティを作成・配布		姫新線利用促進・活性化同盟会 （西播磨県民局）			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【実施状況・課題】 龍野北高校総合デザイン科が作成した車内路線図を活用したクリアファイル、ステッカーのノベルティを作成 【今後の展開】 利用促進イベント、沿線学校に配布				●	

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
イベント列車の運行 (工作体験&金出地ダム探検ツアー)	姫新線と沿線地域の地域資源を結ぶユニークな沿線イベントを実施し、沿線地域外に対する姫新線のPRや認知度向上を図った	246千円	西播磨県民局			●
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 39名 【期間】 8月23日 【実施状況・課題】 全員が参加者アンケートにてまた乗りたいと回答 【今後の展開】 参加者アンケートを実施し実際の声をもとに姫新線の県内・外へのPRに役立てる					
姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー (西はりま天文台)	姫新線を利用した沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施 姫新線のPR及び利用促進と万博開催に向けた機運醸成を図った					●
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 31名 【期間】 12月6日 【実施状況・課題】 参加者アンケートにて9割の参加者がまた乗りたいと回答 【今後の展開】 参加者アンケートを実施し実際の声をもとに姫新線の県内・外へのPRに役立てる					
姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー (利神城と平福ガイドツアー)	姫新線を利用した沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施 姫新線のPR及び利用促進と万博開催に向けた機運醸成を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会 (西播磨県民局)			●
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 20名 (応募96名) 【期間】 3月14日 【実施状況・課題】 参加者アンケートでは8割がまた乗りたいと回答 一方、「本数の少なさ」の指摘や「車の方が便利」との意見もあった 【今後の展開】 実際の声をもとに姫新線の県内・外へのPRに役立てる					

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
姫新線ファンクラブ	SNS「X」の公式アカウントのフォロワーをファンクラブの会員と定め、姫新線に関する情報を随時発信	—	姫新線利用促進・活性化同盟会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 週に一度ペースで「X」を更新中、フォロワー数448名 【実施状況・課題】 自治体で積極的な情報発信を実施 【今後の展開】 引き続き沿線イベントのPRや観光情報など積極的に発信する			●	●	

令和7年度の取組結果一覧

播但線WT

令和7年度の取組結果（一覽）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR利用促進補助金（3制度）	①特急はまかぜ利用促進補助金②JR播但線利用促進補助金③遠距離通勤・通学等補助金	10,700千円	神河町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 ①230件(700千円)②2,383件(4,200千円) ③261件(3,395千円) ※3月25日時点</p> <p>【期間】 令和7年度</p> <p>【実施状況・課題】 HPや駅への申請書設置による周知により申請件数、新規利用者確保に取り組んだ。</p> <p>【今後の展開】 次年度事業継続に向けて、効果検証を行う。</p>			●		
長谷駅利用促進事業	「長谷地区の振興を考える会」に長谷駅の利用促進を図るための事業実施を委託	1,350千円	神河町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 イベントでの播但線利用者：217名</p> <p>【期間】 令和7年度</p> <p>【実施状況・課題】 各イベントごとに播但線利用者には、地区内で利用できる助成券を配布。紅葉ウォーキングでは播但線を利用して移動するため大幅な乗車人数を確保した。</p> <p>【今後の展開】 新規のイベントを検討し更なる利用促進のため工夫をしていく。</p>			●		●
【新】特急はまかぜで行く城崎温泉日帰りツアー	JR播但線利用促進事業の一環として、神河町民限定で特急はまかぜを利用して城崎温泉へのカニツアーを行う。	1,046千円	神河町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】 令和7年度</p> <p>【実施状況・課題】 当日110名参加(920千円) 令和8年1月31日（土）実施</p> <p>【今後の展開】 特急はまかぜを含めた更なるJR播但線利用促進事業を進めていく</p>			●		

令和7年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
公共交通に対する意識醸成	「公共交通はみんなで守っていくもの」というマイルール意識の醸成に向けた意識啓発に取り組む。市内イベントへの公共交通ブース出展、地元学生の取組支援等を実施	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 【実施状況・課題】 環境フェスタ出展: 8月3日, ゆめいくプロジェクト協力: 通年 公共交通ワークショップ: 3月7日 【今後の展開】 市内イベントへの公共交通ブース出展、学生主体の活動である「ゆめいくプロジェクト」への協力、市民ワークショップの開催等、市民の意識啓発を進めることができた。今後も継続的に実施。			●		●
公共交通の利用促進	各種助成制度の創設、駅の待合環境整備を通じて、公共交通の利用促進に努める。	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 助成制度利用者: 668名・17団体 (R8.3.25時点) パーク&ライド利用者: 451名 (R8.2月末時点) 【今後の展開】 制度により利用状況に濃淡があるため、広報周知を進める。			●		●
特急はまかぜ利用促進補助金 特急はまかぜ利用者専用パーク&ライド	特急はまかぜの利用者に対する補助金及び特急利用者専用パーク&ライド駐車場の確保	1,000千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 個人659名・団体11団体・パーク&ライド利用者451名 【今後の展開】 多くの利用があり実績も増加傾向である。パーク&ライドの対象を他の特急利用者にも広げる等の改善も図りながら、継続して実施する。			●	●	
JR播但線団体利用促進補助金	播但線の普通列車を4人以上の団体で利用した場合に支給する補助金	108千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 6団体(130人) 【今後の展開】 継続して実施し、区長会等を通じて周知を図る。				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
公共交通通勤利用助成金 (補助金・奨励金)	通勤時に鉄道や路線バスを定期利用している者又は企業等に対して支給する、補助金・奨励金	619千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 6名（6社） 【今後の展開】 件数は増えており、継続して実施し、企業への更なる周知を図る。			●		
駅周辺駐車場利用料金助成事業補助金	JR西日本の通勤定期券を購入して鉄道を利用し、市内駅周辺の月極駐車場を利用する市民に対する駐車場利用料金の補助（1か月当たり、上限3,000円）	100千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 3名 【今後の展開】 継続して実施し、更なる制度周知を図る。			●		
デマンド型乗合交通の活用	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	128,605千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 令和7年4月1日からの和田山・山東エリアの試験運行開始により市内全域での運行完了。年間延べ40,000人超の利用を見込む。 【今後の展開】 鉄道・バスへの乗り継ぎ利用の周知等、より効果的な運行を目指す。			●	●	●

令和7年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
情報発信	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信	—	朝来市	●		●
	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 市公共交通情報誌「あさごナビ」の発行や、市HPを活用し、各種公共交通施策に関する情報発信を実施した。 【今後の展開】 引き続き情報発信を継続する。					
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進（市職員による利用促進の取組など）	—	朝来市	●	●	●
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 通年での公共交通通勤や、出張での公共交通利用の奨励等、利用促進の取組を実施した。 【今後の展開】 市民全体の活動となるように引き続き実施する。					
播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み	福崎町の「ガジロウ」を活用した広報活動や特定期間を「播但線利用月間」として集中的な利用促進を図る	—	朝来市	●	●	●
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 10月～ 【実施状況・課題】 神河町砥峰高原をロケ地に動画作成。SNSを中心に反響があり。 【今後の展開】 引き続き広報活動を実施し、幅広い層への浸透を図る。					

令和7年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】 JR生野駅東口待合室改修事業	JR生野駅東口待合室を中高生や地域住民の意見を取り入れながら改修し、鉄道利用者の利便性向上を図る。	500千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和7年4月～ 【実施状況・課題】 生野高校ゆめいくプロジェクトとの連携を核に、中学生や地域住民の意見を取り入れ設計内容や利用方法の検討を進めた。 【今後の展開】 令和8年度の改修を目指し、連携を継続。			●		●
【拡】 駅周辺整備事業	駅利用者の利便性向上のため、和田山駅南口ロータリー、梁瀬駅自転車等駐車を整備。	13,000千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 駅南口ロータリー（R7.11）、梁瀬駅自転車等駐車場（R7.12）を整備完了・供用開始。 【今後の展開】 引き続き駅周辺の環境整備を図る。			●		●
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次交通を充実	450千円	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会 等			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月13日～11月30日 【実施状況・課題】 全体で1,092名の利用があり、多数の鉄道利用に繋がった。 【今後の展開】 令和7年度は但馬・鳥取空港と連携することで、大阪・関西万博来訪者や首都圏からの観光客等を地域に呼び込んだ。今後も、鉄道利用促進に繋がるよう、空港との連携を進める。				●	

令和7年度の取組結果（一覽）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
1 日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の継続運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保。ガイド無料や観光施設入館無料等、立ち寄り先での特別体験を企画。	15,180千円	但馬観光協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日 【実施状況・課題】 2月末時点で1,815名利用。（昨年度2月末時点より384名減少）但馬外での周知が不足していると思われるため、SNS等を活用したPRが課題。 【今後の展開】 4月以降、「たじまわる」の乗車料金改定および運行ルートの見直しを行ったことから、内容の周知を徹底するとともに、観光客への情報発信を強化し、1便当たりの利用者数増加を図る。また、9年度の運行に向け、ルート内容等は引き続き検討を行う予定であり、乗車料金改定後も「たじまわる」の利用者満足度を維持できるよう努める。</p>				●	
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。	200千円×2	兵庫県 (市町協調)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 一般社団法人寺前駅前銀座商店会「JR寺前駅利用促進イベント事業」、生野高等学校「高校生によるJR生野駅ブランディング事業」を採択 【実施状況・課題】 モデル事業開始より3年が経過し、活動団体が一定、地域に根差したと考えられる。 【今後の展開】 次年度は実施せず、全県的なPR活動に努める。</p>			●	●	●
【新】FPデジタルスタンプラリー	但馬のFP等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各FPの魅力を感じてもらおう。	1,163千円	兵庫県 (但馬県民局)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 11月1日～1月31日 【実施状況・課題】 駅から離れているチェックポイントもあり、どう鉄道利用に結びつけるかが課題 【今後の展開】 チェックポイントに鉄道利用を加える等、鉄道利用促進と但馬への集客・周遊を促す手法を検討。</p>				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
但馬観光の将来を見据えた地域内周遊の促進	大阪・関西万博やワールドマスタースゲームズ関西を契機に発展を目指す地域コンテンツへ観光客を送客する2次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2次交通の充実を推進	1,000千円	兵庫県 (但馬県民局)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】 令和8年2月21日～3月22日</p> <p>【実施状況・課題】 鉄道駅から観光地を繋ぐデマンドバスの実証運行を実施。城崎温泉・但馬空港から出石へ移動でき、完全貸切予約制で最大6名まで乗車可能。上記期間中の乗車実績は合計5名。課題としては、このようなデマンドバスが運行していることをもっと広く周知することだと考えられる。</p> <p>【今後の展開】 実証運行の結果を基に、内容の磨きあげに向けた検討を行う。</p>				●	
【拡】 播但線駅カードの作成	昨年度に作成した駅カード及びカードフォルダに、生野駅から和田山駅を追加したコンプリート版を作成・配布し播但線の利用促進に繋げる	700千円	兵庫県 (中播磨県民センター)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】 令和7年3月25日から配布開始</p> <p>【実施状況・課題】 和田山駅までのカードを増やすにあたり朝来市にも協力要請</p> <p>【今後の展開】 継続して実施し、播但線への誘客を図る</p>			●	●	
WESTERへの情報集約	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 登録スポット数：23件、登録イベント数19件(5月時点：17件)</p> <p>【期間】 通年</p> <p>【実施状況・課題】 イベント情報を継続して、ご提供いただいている。</p>				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 「銀谷祭り」を西Navi 9月号に掲載 【今後の展開】 今後も地域から頂いたイベント情報を掲載				●	
【新】 はなあかりの運行 (かにカニはまかぜ増結)	臨時特急「かにカニはまかぜ」に沿線地域の工芸品・アート作品を展示した観光列車「はなあかり」を増結	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 1月5日～3月8日の月・金・土・日曜日 【実施状況・課題】 新聞やテレビに取り上げられ話題作りができています。 【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信していく。				●	
【新】 利用促進リーフレットの作成	普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に播但線(寺前～和田山)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 6月～3月 【今後の展開】 今年度末を目途に公共施設等に配架する。				●	

令和7年度の取組結果（一覽）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】ご利用実態調査	乗車駅・降車駅、目的、利用頻度、二次交通等についてのアンケート調査を実施。併せて、播但線ノベルティを配布し、鉄道利用の呼びかけを実施	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 10月9日（木）、10日（金）、11日（土）、12日（日） 【実施状況・課題】 鉄道をご利用されていない地域の方々への利用促進の呼びかけが必要 【今後の展開】 昨年度、今年度のご利用実態調査の結果をまとめ、播但線（寺前～和田山）の現状分析に活かす			●	●	
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 駅等で掲出することにより、多くのお客様の目に留まる。 【今後の展開】 今後も可能な範囲で協力。					●
【新】週末開催！西日本じまん市	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信	—	JR西日本 各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 5月17日、9月6日 【実施状況・課題】 大阪駅「暁の広場」にて、福崎町のゆるキャラ「ガジロウ」や朝来市の竹田城跡にちなんだ「甲冑武者」のパフォーマンスを披露。地域の魅力をアピールするために、朝来市のクイズや福崎町の特産品の販売を実施した。					●

令和7年度の取組結果一覧

赤穂線WT

令和7年度の取組結果（一覧）

赤穂線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
沿線イベント広報PR	JR赤穂線・山陽本線沿線で開催されるイベントに合わせて、圏域市町の広報誌にイベント情報を掲載	0千円	東備西播定住自立圏域 JR利用促進協議会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 広報誌に載せたイベント総数：15件				●	●
JR赤穂線・山陽本線Instagramフォトコンテスト2025	Instagramを活用して、JR赤穂線・山陽本線の車窓や駅構内から撮影した写真のフォトコンテストを開催	200千円	東備西播定住自立圏域 JR利用促進協議会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 Instagramを使ったフォトコンテストを開催することで、JRの利用促進を図るとともに、沿線の魅力を広く発信した。 応募総数：153件				●	●
JR赤穂線・山陽本線Instagramフォトコンテスト2025 写真展	JR赤穂線・山陽本線Instagramフォトコンテスト2025における入賞写真の展示会を開催	50千円	東備西播定住自立圏域 JR利用促進協議会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 備前市役所1階エントランスにて開催し、来庁者に対して沿線の魅力を発信した。 開催期間：令和8年1月23日 展示点数：9点				●	●

令和7年度の取組結果（一覧）

赤穂線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR西日本岡山支社、兵庫支社への要望	JR西日本岡山支社、兵庫支社に対して、利便性向上のための要望書を提出する	100千円	東備西播定住自立圏域 JR利用促進協議会			
(実施結果・今後の展開等)	現時点では、要望内容の実現には至っていないが、地域のニーズや利用状況を踏まえ、今後も継続的に取り組んでいく。			●		●
国内向け情報発信事業	TikTok等を活用し、JR赤穂線沿線の魅力を発信する	2,398千円	JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】JR赤穂線沿線地域の認知度の向上及び観光誘客の促進を図るため、TikTok等の縦型ショート動画を活用して魅力を発信した。			●	●	
かきシーズンPR事業	牡蠣プロモーション「かきめぐり」PRポスター及びチラシを作成し、主要駅舎等に掲出及び構成団体によるPR活動を実施	814千円	JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】管内の主要観光施設やJR西日本近畿統括本部及び岡山支社管内主要駅等において、ポスターの掲出及びチラシの配架を行った。				●	●

令和7年度の取組結果（一覧）

赤穂線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
JR赤穂線駅発まち歩き関連事業への支援	JR赤穂線沿線地域への集客と活性化に資すると認められる「まち歩き事業」及びその広報に係る経費助成（上限10万円）	400千円	JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>実施件数：4件</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 相生市観光協会 相生かきマップ作成（100千円） （一社）赤穂観光協会 赤穂まち歩きイベント（100千円） （一社）備前観光協会 『焼き物のふるさと備前』パンフレット増刷(100千円) （一社）瀬戸内市観光協会 牛窓（瀬戸内）リゾートマップ（100千円） 			●		●